

私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています



## 土浦平和の会

ニュースNo. 160 2005年10月

発行 土浦平和の会

事務局 土浦市神立町2664-2

TEL 831-9122

[http://www.geocities.jp/ino011\\_jp/](http://www.geocities.jp/ino011_jp/)

## 米軍再編のねらいは？

### 全地球的作戦構想

### 全世界を監視下に置く戦略

世界中何処にでも72時間以内に対応できるように、全戦力を10個編成の「航空宇宙遠征軍」に組み込む再編成が進行中。グアム空軍基地の機能を横田基地に統合してさらに強化し、横田の第五空軍とグアムの第十三空軍を統合する。グアムの作戦指揮機能はハワイに移され、朝鮮半島以外のアジア・太平洋全域を責任範囲とする新しい戦闘司令部が設けられた。(平和新聞「米軍基地をなくそう11・5横田基地包囲行動」新原講演から)

### 独自に作戦行動のできる編成 - 指揮統制能力も備えた編成

アジア太平洋地域で、米西海岸からインド洋までの地域を分担する太平洋海兵隊が取り組んでいるのは「即応能力を向上させるため兵力と指揮統制能力を地域全体に分散配置することだ。」分散配置するのは航空・陸上・後方支援部隊だけでなく、指揮統制機能も備えた配置になる。沖縄はすでに指揮統制能力を持って、独自に作戦行動をおこなう能力を備えているので、駐留兵力は削減しない。(海兵隊グッドマン司令官談、朝日新聞)

### 日本は重要な拠点 - 陸上自衛隊は座間基地に

### 航空自衛隊も横田基地の指揮下に！

日本を「戦力展開拠点」の1つと位置づけ、陸軍第1軍団司令部をキャンプ座間に移す。あわせて、陸上自衛隊が新たに編成する「中央即応集団司令部」を座間基地内に置く。相模原補給廠跡に木更津の陸上自衛隊ヘリ部隊の移転計画(東京新聞)。横田基地に航空自衛隊・航空総隊司令部を移して、日米共同使用化する。さらに、ミサイル防衛の「共同統合作戦センター」を設置する構想や多国籍軍参加の一般法検討の計画まで上がっています。米軍再編は米軍と自衛隊の一体化を進めるものであることを示しています。自衛隊がいつの間にかアメリカの指揮下に入って世界戦略の一端を担う構想が進行しようとしているのです。

11/5 横田基地包囲行動(東京平和委員会)

11/26 座間大集会(座間集会実行委員会)

11/25~27 日本平和大会 in 神奈川

平和の会ニュース、平和かわら版（茨城県平和委版）配信しています。早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください

## 幻の大本営跡を訪ねて

松代・小布施（北斎館）・上田（市立博物館・無言館）  
かすみがうら市 佐藤文雄

10月23日、土浦平和の会主催の『平和の旅』は、秋晴れの爽やかな好天に恵まれ、ほぼ時間通りに土浦を出発、一路長野の松代へと向かいました。

私は、これまで何回となくお誘いを受けていましたがなかなかチャンスがなく今回初めての参加となりました。会としては今回の目的地である「松代大本営地下壕」見学は、3回目ということもあってか参加者がなかなか集まらず一時は中止の声もあったようですが、何とか採算ベースの15人が集まり『旅』を挙行することができたとのことでした。

私自身、「松代大本営地下壕」については、それほど知識はなく勉強する意味で今回の旅は大変楽しみにしていました。バス車中で沖縄戦のビデオを見て事前学習。沖縄が本土決戦への捨石とされたことは分かっていましたが、沖縄玉砕作戦は「地下壕」建設・完成への時間稼ぎだったとは知りませんでした。

予定より少し遅れて目的地である松代象山地下壕に到着。そこでは今回ガイド役の島村さんが待っていて下さいました。島村さんは、「松代大本営の保存をすすめる会」の幹事であり、長年ボランティアでガイド役を務めているとのことでしたが、大変丁寧で分かりやすい説明をして頂きました。

この地下壕は総延長が約6kmあり、着工は昭和19年11月11日で翌20年8月15日の終戦の日まで、約9ヶ月の間に当時のお金で約2億円の巨費とおよそ延300万人の住民及び朝鮮人の人々が労働者として強制的に動員され1日3交代徹夜で工事が進められたということです。強制労働を強いられたのは圧倒的に朝鮮人の人達であり、その人達への扱いは酷いものがあったようです。コウリヤンなどの貧しい食事と雑魚寝程度の宿舎しか与えられず、多くの犠牲者をでたという話を聴くにつれて人間扱いしない当時の政府に対して怒りがこみ上げてきました。また、舞鶴山地下壕は天皇のために造った壕だという事でしたが、戦後天皇が長野県を訪問した際に、天皇が「戦中にムダな地下壕を造ったようだが…」と語ったそうです。無謀な戦争を推し進めたうえ、国体護持という名の下に数多くの人達を犠牲にした責任は一体誰にあるのかと叫びたい気持ちでした。

今回の「平和の旅」で天皇制と戦争の無意味さを改めて認識できる機会となりました。戦後60年、小泉内閣の下、再び戦争ができる国にしようという自民党の憲法草案が出され、民主党もこれに競い合うように憲法9条を空洞化する動きが強まっていますが、何としてでも阻止しなければと思いました。また、井上町子さんには車中いろいろとお気遣いして頂きまして有難うございました。



### 活動ごよみ

10・16 土浦平和の会理事会（神立コミセン）  
10・21 平和委県南ブロック会議（神立コミ）  
反戦デーつくば集会（竹園近隣公園）  
10/23・24 平和の旅（松代・小布施・上田）

11・14~27 県南宣伝行動  
（石岡・土浦・阿見・牛久・龍ヶ崎  
藤代・取手・谷和原・伊奈・つくば）  
11・25~27 日本平和大会（神奈川）